



1 昔々、あるところに「おいてけ堀」と呼ばれる堀^{ほり}がありました。堀という
2 のは、お城^{しろ}を守るために、その周^{まわ}りに水をためたところのことです。そこに
3 は魚もたくさんいたので、釣^つりに訪^{おとず}れる人が少なくありませんでした。

4 けれども、「おいてけ堀」にだけは、釣^つりに行こうとする人はいませんで
5 した。

6 実は、「おいてけ堀」で釣^つりをした人が、釣^つった魚を持って帰ろうとすると、
7 堀の中から「おいてけ〜（置いて行け〜）」という低い声が聞こえ、それで
8 も持って帰ろうとすると、声はだんだん大きくなり、最後は恐^{おそ}ろしいことが
9 起きるとい^う噂^{うわさ}があったのです。

10 あるとき、この噂^{うわさ}を聞いた魚屋の男が、「そんなものが怖^{こわ}くて魚屋ができ
11 るか！ ここは一つ、みんなに勇^{ゆう}気があるところを見せてやろう」と、お嫁^{よめ}
12 さんが止^とめるのも聞かないで、その堀へ出かけていきました。



堀に着いて男が釣りを始めると、次から次へと魚が釣れて、魚の入れ物は、
あつという間にいっぱいになりました。しかし男は釣りをやめたあとも、そ
のままそこでたばこを吸い始めました。

そのうちだんだん暗くなり、冷たい風も吹いてきましたが、男はたばこを
やめません。

「俺は暗くなってもこの堀でたばこを吸ってきたと、嫁やみんなに話して
やろう」

さて、男がたばこを吸い終わって、ようやく帰ろうと思って立ち上がると、
「おいてけ〜」という低い声が、堀の中から本当に聞こえてきました。男は
両手を耳にあてて、「釣った魚を置いて行けるか！」と、声が聞こえなくな
る所まで、そのまま走って逃げました。

男はもうこれ以上走れなくなって、柳の木の近くで立ち止まりました。す
ると間もなく、今度は「カランコロン」という下駄の音が聞こえてきて、柳
の木の下で止まりました。男は恐ろしい気持ちでいっぱいでしたが、現れた
のは今までに見たこともないような美しい女でした。女は、「ねえ、その魚



28 を売ってくださいよ」と言いましたが、男は、「みんなに見せるまでは誰に
29 も売れない」と言って断りました。

30 しかし女はあきらめません。「売ってくださいよ」男のほうも断り続けま
31 す。「だめだ」「売ってくださいよ」「売らない」「売ってくださいよ」「売ら
32 ない」「どうしても?」「どうしても」「どうしても?」「どうしても!」

33 「それじゃ……これでも?」女がそう言って顔の前で手を上下に動かすと、
34 さっきまでの美人は目も鼻も口もない「のっぺらぼう」になってしまいました
35 た。男はたいへん驚いて魚の入れ物を投げ出すと、慌てて逃げていきました。

36 逃げる途中でそばの屋台を見つけたので、男はそこへ飛び込みました。そ
37 して震えながら、「のっぺらぼう、のっぺらぼう……」と言うと、振り向い
38 たそば屋の主人の顔も「のっぺらぼう」!



男はもう立ち上がることもできませんでしたが、それでも必死に逃げてい
きました。

ようやく家に帰り着いた男。お嫁さんが「何があったの？」と聞くと、男
は今までの出来事をお嫁さんに話して聞かせました。そしてお嫁さんは話を
聞き終わると、「そう、するとあんたが見た『のっぺらぼう』は、こんなのじゃ
なかった？」と言って、顔の前で手を上下に動かしました。すると何と、お嫁
さんまで「のっぺらぼう」になってしまいました！

男はもう何もわからなくなって、気を失ってしまいました。

翌朝、男が目を覚ますと、そこは女と出会った柳の木の下でした。けれど
もそこは、前の夜にはなかったはずのお墓がいくつもいくつも立ち並ぶ墓地
の中でした。そして男のそばには、空になった魚の入れ物が転がっていたの
でした。



③. 男はどうしてたばこを吸ったのですか。

_____ ため。

④. 男はどうして女に魚を売ろうとしなかったのですか。

_____ ため。

⑤. 男が「おいてけ堀」へ行こうと思ったのは、どうしてですか。

_____ から。



① 男が釣った魚は、結局どうなったと思いますか。それはどうしてですか。

② 読み物2のタイトルは「オバケと幽霊」です。オバケと幽霊の違いは何だ
と思いますか。